

週刊 循環経済新聞

The Recycling Economy Times

4月9日 No.1389

2018年(平成30年)

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

〒651-8511 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年 間 22,900円+税
(定価) 1部本体 495円+税

株式会社
〒3編期3-1-5
〒5214) 6633
〒本町1-5-11
〒(0262) 2090

エコロ 塩ビ壁紙再資源化開始 広域認定の再資源化担う 硬質プラの処理も増強

プラスチックのリサイクル・再資源化で環境能力は1カ月当たり約

1トンなどを手掛ける大臣から広域認定を受

70%。広域認定のシステムに基づき、新築や

エコロ(本社・埼玉真)の取り組みの一環に

なる。後藤社長は、「分解の現場で発生する

長、049・265の支障やコスト面の

・8390)は「緩類課題はおおむねクリア

できるようになった。処理する。現在は壁紙

工場で発生した有価の許

化ビニル壁紙を叩解法可も取得して第2号ラ

ロス品も扱っている。叩解法とは、塩ビ壁

紙を分離し、それぞれ紙を分離し、それぞれ

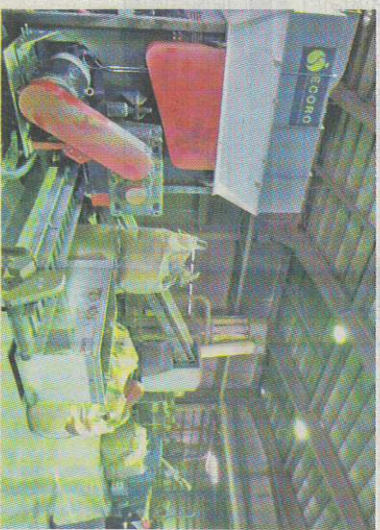
を再資源化する事業を1でつくる(一社)日本

壁装協会が塩ビ壁紙の

塩ビ壁紙を叩解法でリサイクル



硬質プラスチックの粉砕・洗浄・比重差分離も増強



が、昨年从中国はこれらの輸入を禁止した。同社では将来的な中国輸出禁止を見越して、塩ビ壁紙や硬質の硬質のプラスチックの再資源

重差分離、脱水する

化を進めてきた。

イを2016年に稼働させ、昨年には欧州

硬質のプラスチック製の新機を導

系(ポリエチレン、ポリプロピレン)に絞

排出事業者に極力分別してもらった。再

生利用している。

があり、事業に乗りきり、技術のことだ、

分離の支障となる静電

れなかった。エコロは

課題解決の試験を重ね

わたり、塩ビ壁紙の口

動の電力コストに課題原料化など事業のめ

・再資源化されてきた